

江東区男女共同参画に関する意識実態調査報告について

1 調査の目的

（仮称）男女共同参画 K O T O プラン 2026（第 8 次江東区男女共同参画行動計画）の策定に向け、区民および区内企業（事業所）における男女共同参画に関する意識、行動、実態などを把握し、今後の施策のあり方を検討するための基礎資料として活用する目的で実施した。

2 調査概要

	区民調査	区内企業（事業所）調査
調査対象者	令和 6 年 9 月 1 日時点で区内に在住する満 18 歳以上の男女個人 3,500 人を無作為抽出	従業員数 20 人以上の区内企業・事業所から、産業分類、従業員規模別に 1,500 社を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送・W E B 併用回収 調査期間内に礼状兼督促はがき 1 回送付	
調査期間	令和 6 年 9 月 27 日（金）～10 月 10 日（木）	
回収件数 （回収率）	888 件（25.4%） うち、W E B 回収 412 件	259 件（17.3%） うち、W E B 回収 168 件

3 主な質問項目

（1）区民調査

男女平等意識、家庭生活等に関する意識、学校教育、仕事、育児や介護への支援、ワーク・ライフ・バランス、あらゆる暴力、性の多様性、地域活動・防災活動等について

（2）区内企業（事業所）調査

育児や介護への支援、ワーク・ライフ・バランス、推進体制、性の多様性への配慮、ハラスメント等の防止等について

4 主な調査結果

(1) 男女平等意識

「学校教育の場」において5割弱が「平等」と感じている一方、「政治の場」においては、8割強が「男性優遇」と感じており、「女性優遇」は全項目で1割弱となっている。

(2) 仕事、ワーク・ライフバランス

職場における男女差別としては、2割半ばの女性が「昇進・昇格の機会に差別がある」と回答しており、男性よりも1割強高くなっている。

職業生活・家庭生活の時間のすべてのバランスを取りたいと望む回答が4割強であり、希望通りとなっているのは4割弱となっている。

(3) あらゆる暴力

暴力防止や被害者支援のために必要な対策としては、「被害者のための相談を充実させる」が4割近く、「法律による規制や見直しを行う」が3割台半ばを超え、「被害者の避難場所（シェルター）を充実させる」が3割近くとなっている。

(4) 性の多様性

区に期待する施策としては、相談窓口の周知や啓発を望む回答が3割となっている。

5割半ばの企業がLGBT等への配慮の必要性は感じているが、取り組みは行っていないと回答している。